

# リサーチ・アドミニストレーター を育成・確保するシステム

～事業進捗状況評価報告～

平成26年4月24日

説明者

理事・副学長 URA機構長 藤木 幸夫

シニアリサーチ・アドミニストレーター 安達 淳治

シニアリサーチ・アドミニストレーター 磯山 武司



九州大学



## 百年メッセージ 九大百年 躍進百大

### 基本理念

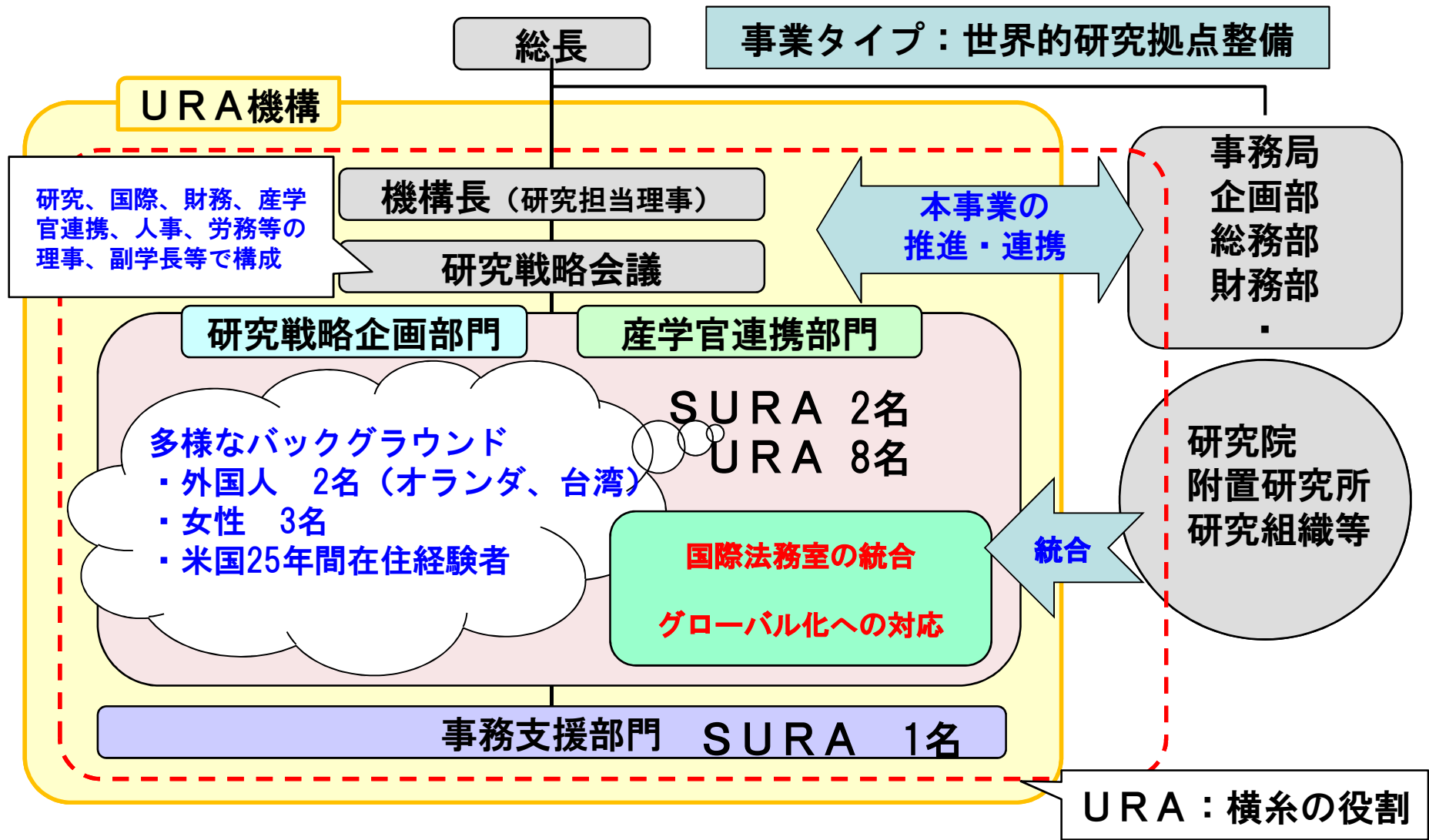
自律的に改革を続け  
教育の質を国際的に保証するとともに  
常に未来の課題に挑戦する活力に満ちた  
最高水準の研究教育拠点となる

### 九つの目指す姿

1. 社会の課題に応える大学
2. 最高水準の研究を推進する大学
3. アクティブ・ラーナーを育成する大学
4. 骨太のリーダーを養成する大学
5. 先端医療により地域と国際社会に貢献する大学
6. 卓越した研究教育環境を構築・維持する大学
7. グローバル社会と地域社会を牽引する大学
8. 自律的改革により進化し続ける大学
9. 知の蓄積と継承・発信を推進する大学



## 総長、理事の強いリーダーシップによる全学的研究戦略推進体制





### ◇九州大学のURAシステム整備の特長

#### □総長、理事の強い**ガバナンス**による運営

⇒全学的な研究戦略のシンクタンク機能、**役員会**によるURA選考、  
主幹教授等のトップ研究者の研究時間の確保、  
若手・女性・外国人研究者育成支援など

#### □**産学官連携・国際法務等**を統合したシステムを実現

⇒産学官連携本部や国際法務室等のURA相当職との**コラボレーション**、  
シームレスな研究支援環境の創出

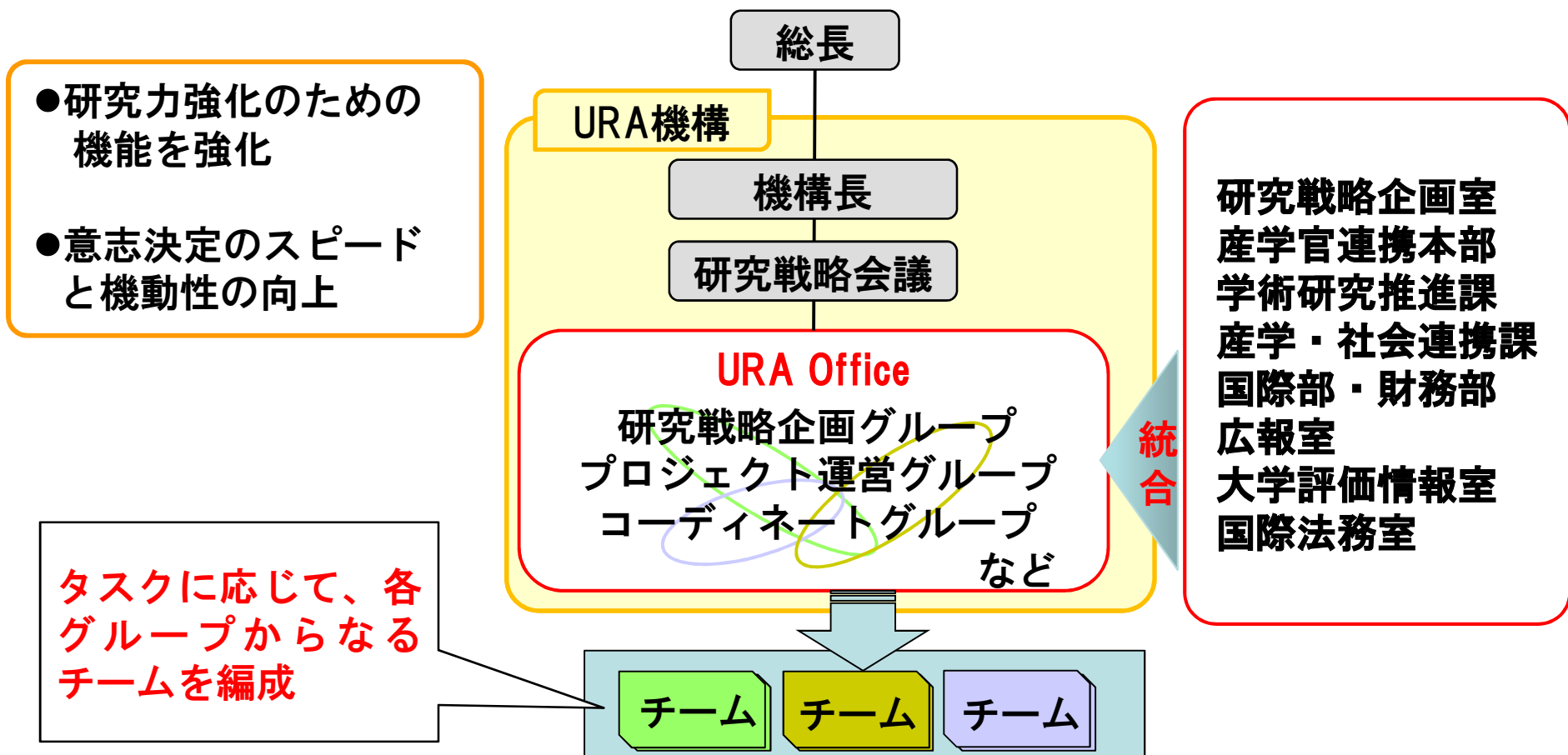
#### □教員、事務職員と異なる**第三の職**の確立(平成27年度までに規則等を整備)

⇒年俸制による常勤雇用、ハイクラスな報酬体系に対応  
名称を**研究企画調整官**(URA)、**上席研究企画調整官**(SURA)



### 《新たな研究支援体制のイメージ》

研究支援に関連する部署を統合し、研究推進支援体制の更なる高度化・効率化



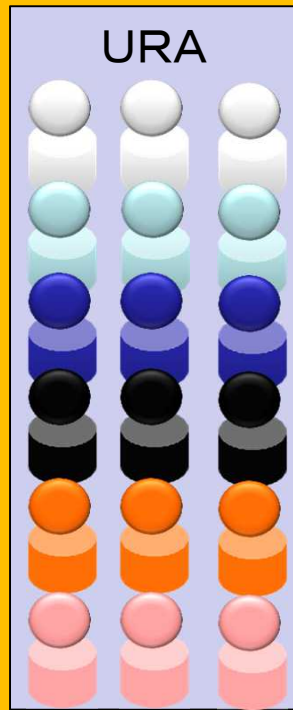


専門家集団の中からタスクに応じたチームを編成し機動的に支援

### URA機構

### URA Office

- ・ 研究戦略企画グループ
- ・ プロジェクト運営グループ
- ・ コーディネートグループ
- ・ 知的財産・契約グループ
- ・ 渉外・広報グループ
- ・ 国際業務グループ



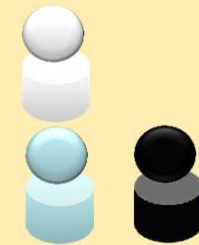
### 主幹教授支援チーム

- ・ 研究戦略企画
- ・ 知財/契約
- ・ コーディネート
- ・ 渉外・広報



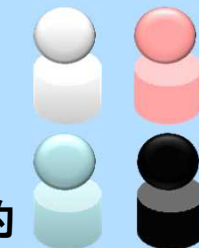
### 先端融合チーム

- ・ 調査・分析
- ・ 研究戦略企画
- ・ コンプライアンス
- ・ 知財/契約



### 研究者招へいチーム

- ・ 調査・分析
- ・ 研究戦略企画
- ・ 海外研究資金獲得
- ・ 国際法務/知財/契約



⋮





## URA活動実績

### □申請支援

- 国際科学イノベーション拠点整備事業⇒H24採択
- 革新的イノベーション創出プログラム⇒H25採択
- 大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業⇒H25採択
- 博士課程教育リーディングプログラム⇒H25採択
- 研究大学強化促進事業⇒H25採択
- 科学研究費助成事業⇒H26ヒアリング4件(特別推進・新学術領域研究)

### □共同研究・受託研究の獲得(H25)

- 共同研究 86件
- 受託研究 5件
- 組織対応型連携 4件
- 共同研究部門 3件

### □科研費申請・獲得ハンドブック

全教員に配布



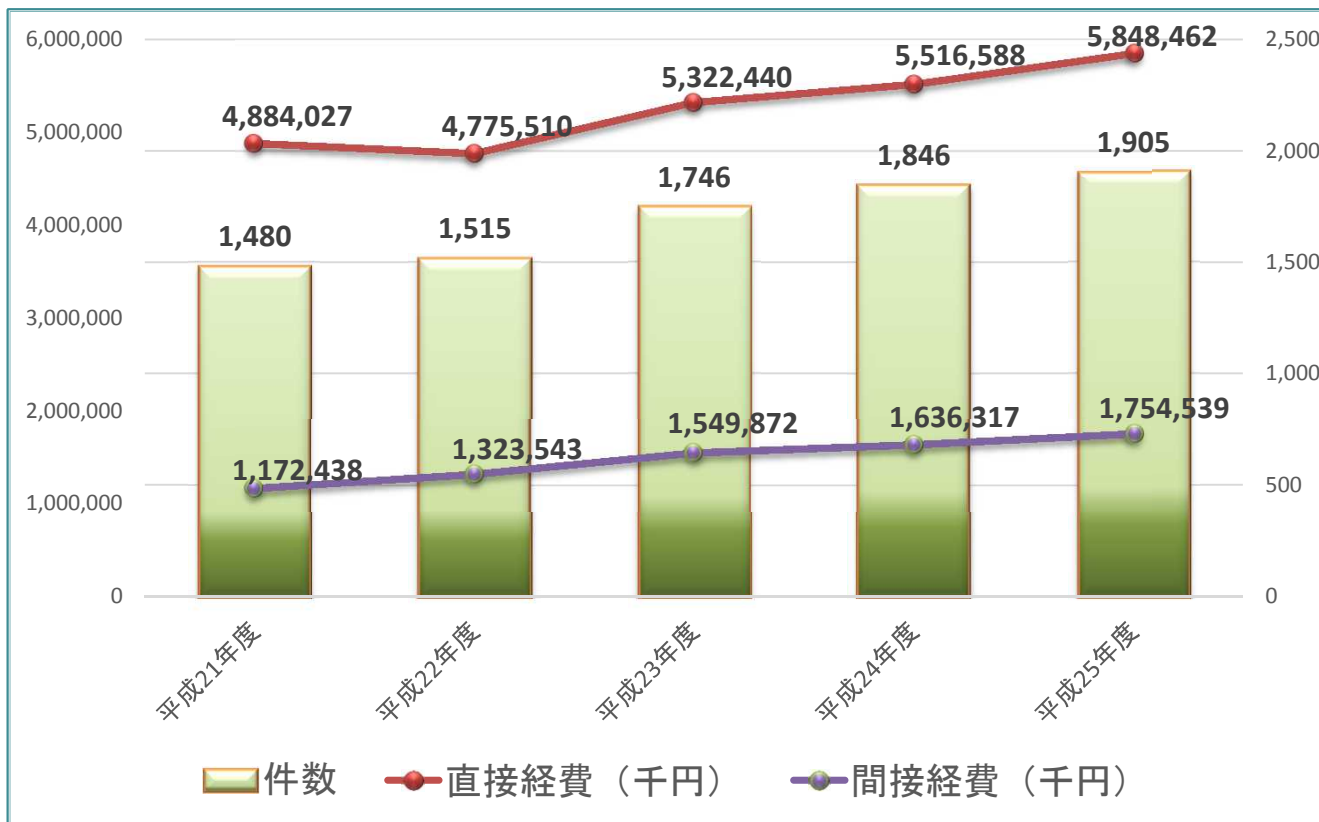
### □URA機構ホームページのリニューアル





## 科学研究費助成事業実績

《九州大学》



出典 文部科学省公表資料「科研費の配分について」より

### 平成25年度 採択件数 上位8機関

東京大学	3,659件
京都大学	2,907件
大阪大学	2,642件
東北大学	2,572件
九州大学	1,905件
北海道大学	1,770件
名古屋大学	1,675件
筑波大学	1,219件



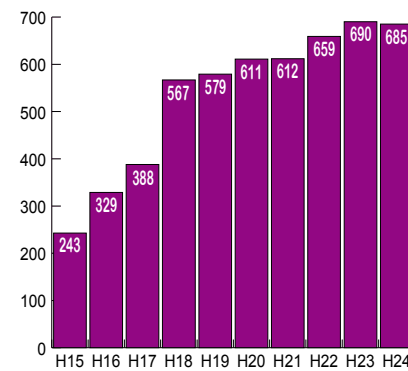


## 共同研究実績

平成24年度 主要8大学の共同研究件数

東京大学	1,412
大阪大学	935
京都大学	933
東北大学	831
<b>九州大学</b>	<b>685</b>
東京工業大学	515
北海道大学	499
名古屋大学	461

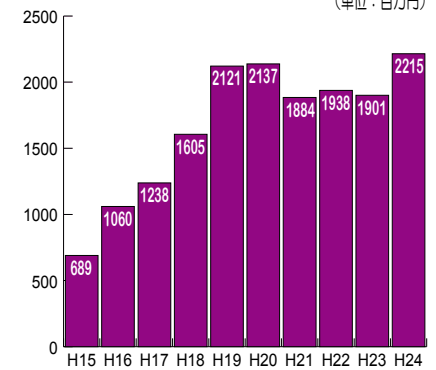
九州大学  
●共同研究件数の推移



平成24年度 主要8大学の共同研究受入額(金額:百万円)

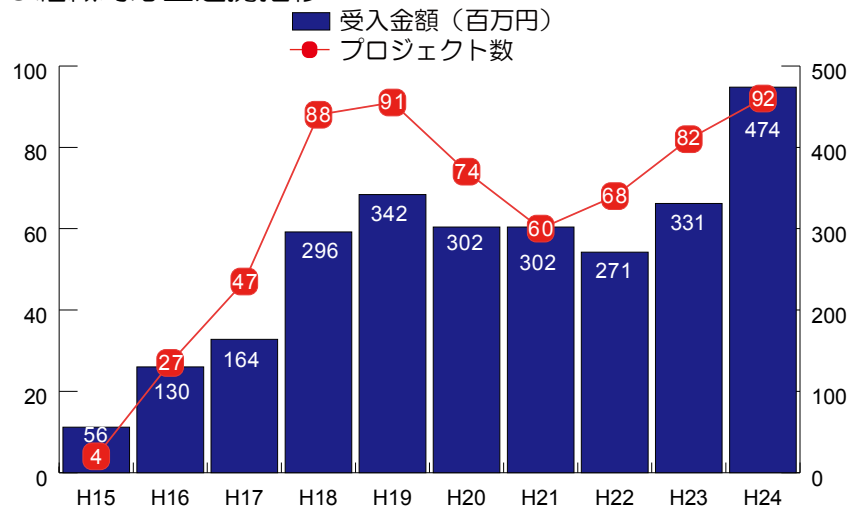
京都大学	6,650 (713)
東京大学	5,067 (359)
東北大学	3,084 (371)
大阪大学	2,835 (303)
<b>九州大学</b>	<b>2,215 (323)</b>
東京工業大学	1,528 (297)
名古屋大学	1,448 (314)
北海道大学	1,034 (207)

九州大学  
●共同研究受入額の推移 (単位:百万円)



括弧内受入額平均

### ●組織対応型連携推移



平成24年度 主要8大学の中小企業との共同研究件数及び受入額

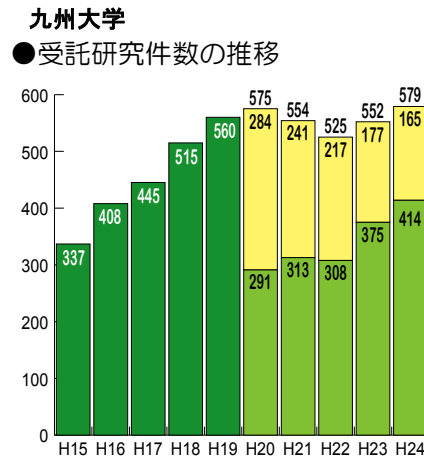
	件数	受入額(金額:百万円)
東京大学	238	763
東北大学	100	348
<b>九州大学</b>	<b>124</b>	<b>218</b>
名古屋大学	74	187
大阪大学	125	151
京都大学	106	126
北海道大学	76	110
東京工業大学	60	94



## 受託研究・知財活動実績

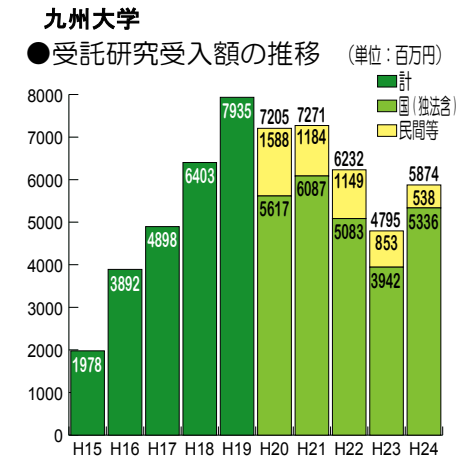
### 平成24年度 主要8大学の受託研究件数

東京大学	1,220
京都大学	826
大阪大学	682
東北大学	666
九州大学	579
名古屋大学	517
北海道大学	443
東京工業大学	364



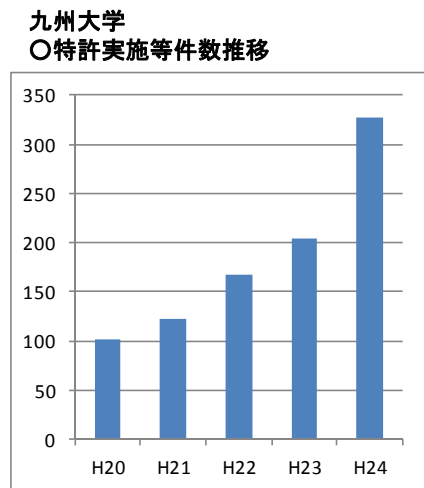
### 平成24年度 主要8大学の受託研究受入額(金額:百万円)

東京大学	26,272
京都大学	14,575
東北大学	9,587
大阪大学	9,449
東京工業大学	6,268
九州大学	5,874
名古屋大学	5,337
北海道大学	3,959



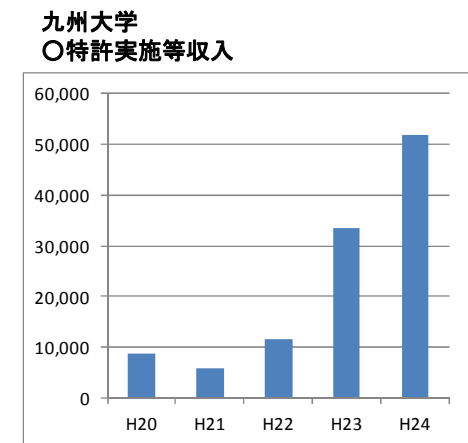
### 平成24年度 主要8大学の特許権実施等件数

東京大学	1,681
東京工業大学	686
京都大学	564
東北大学	429
北海道大学	422
九州大学	327
名古屋大学	247
大阪大学	152



### 平成24年度 主要8大学の特許権実施等収入(金額:千円)

京都大学	257,186
東京大学	179,314
東北大学	60,807
大阪大学	54,888
九州大学	51,929
北海道大学	40,303
東京工業大学	32,824
名古屋大学	9,697

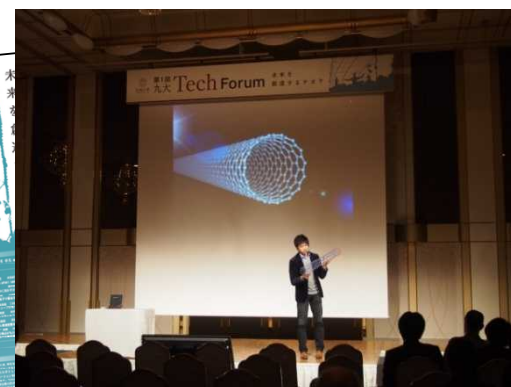




- 大学の研究力の分析・評価
  - ・九州大学研究戦略データ集の作成



- 研究情報発信・アウトリーチ活動
  - ・九大 Tech Forum
  - ・九州大学URAシンポジウム
  - ・URA情報交換会
  - ・各種ワークショップ



- きめ細かな研究者支援
  - ・大型科研費ヒアリングリハーサルの実施
  - ・科研費研究計画調書事前チェック
  - ・研究費獲得セミナー、英語論文執筆セミナー等の開催
  - ・研究者短期招聘・派遣プログラムの企画・実施





### 組織整備

- ・全学的な研究推進支援体制の整備(H23)
  - ⇒本事業によりSURA2名、URA8名、専任事務職員2名、自主経費によるSURA1名を配置(H24)
  - ⇒他の補助金によりURA4名を配置(H25)
- ・グローバル化への対応
  - ⇒国際法務・リスクマネジメントの強化のため、国際法務室を統合(H25)

### インフラ整備

- ・十分な執務スペースの確保
- ・分散型キャンパスに対応したサテライトオフィス(TV会議システム)
- ・科研費、共同研究、受託研究等の競争的資金の獲得状況、教員情報の共有

### 業務達成目標及び評価、能力開発プログラム

- ・業務達成目標及び評価方針の策定(H24)、評価方針に基づく評価の実施(H25)
- ・独自の能力開発プログラム(基礎講義、ジョブローテーション等)の実施(H24~25)

### 人事制度、組織改組

- ・教員、事務職員と異なる第三の職(年俸制)の整備(~H27)
- ・グループ制、関連部署との統合を柱とする改組(~H27)
  - ⇒**基本方針の策定**(「九州大学リサーチ・アドミニストレーターの整備・定着について」)(H25)





# 3.URAの職務環境等整備の進捗状況(2/2)

## 業務達成目標に基づく評価

### 〔目標〕

- ・組織のミッション、個々人の能力等に応じた目標設定
- ・結果のみの評価でなく、プロセスも評価

### 〔評価〕

- ・業務遂行上の助言、課題等のフィードバック
- ・評価に基づく処遇への反映(検討中)

補助事業における目的	補助事業における業務達成目標	実施項目
1. 学術研究企画・提案機能の強化	1-1 学術研究活動推進に向けた効果的な情報収集・分析評価・伝達手法の確立〔現状分析・把握〕	1-1-1 学内研究活動の実情と研究シーズや強みの把握、各種公募情報及び企業等ニーズの把握 1-1-2 政府施策の収集・分析・発信 1-1-3 競争的研究資金及び民間研究資金等の獲得状況及び研究力の分析 1-1-4 研究シーズ、各種公募情報及び企業ニーズ等のデータベースの構築 1-1-5 公募情報及び企業ニーズ等情報に関わる教員等の双方向伝達システムの構築
	1-2 研究プロジェクト企画・提案における全学的な協働体制の構築〔しくみの構築〕	1-2-1 競争的研究資金の研究申請・評価・報告等に関わる支援システムの構築(講習会開催、マニュアル作成、模擬ヒアリング対応等) 1-2-2 研究プロジェクト企画・提案における部局・部門等との協働体制の構築
	1-3 拠点形成型及び分野横断型研究プロジェクト企画・提案の推進〔企画支援〕	1-3-1 リサーチコア等の既存研究グループの活性化 1-3-2 教員提案型大型研究プロジェクトの推進(省庁等への提案を含む) 1-3-3 URA提案型大型研究プロジェクトの推進(省庁等への提案を含む)
2. 競争的研究資金及び民間研究資金等の獲得推進	2-1 科研費等補助金の獲得推進	2-1-1 競争的研究資金の研究申請・評価・報告等に関わる支援システムの運用(講習会開催、マニュアル作成、模擬ヒアリング対応等) 2-1-2 研究シーズ、各種公募情報及び企業ニーズ等のデータベースの運用
	2-2 受託研究等の獲得推進	2-2-2 公募情報及び企業ニーズ情報に関わる教員等のシステムの運用 2-2-3 ファンディングエージェントとの定期的な意見交換 2-2-4 省庁公募型プロジェクトの獲得推進 2-2-5 海外機関のグラントの開拓、獲得推進
3. URA専門職の育成及びURA制度の本学・社会への定着	2-3 共同研究の獲得推進	2-3-1 組織対応型連携の推進 2-3-2 共同研究部門設置の推進
	3-1 URA専門職の能力開発プログラム・評価指針の策定とその実施	3-1-1 各種シンポジウム・学会等参加 3-1-2 URA専門職の能力開発プログラムの策定・運用 3-1-3 URA専門職の評価指針の策定・運用
	3-2 URA事業の持続的運用の仕組み構築、URA専門職の雇用制度の構築	3-2-1 URA専門職の雇用制度の構築 3-2-2 機構の組織整備 3-2-3 URA事業の受益者負担の制度設計 3-2-4 URA事業管理システムの構築
	3-3 URA機構の活動内容の効果的発信	3-3-1 シンポジウムの開催 3-3-2 URA事業パンフレットの作成・配布 3-3-3 URA活動の学内外への発信(HP整備等)

様式

### リサーチ・アドミニストレータ業務評価シート

所属・職名	
氏名	

期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
期中進捗状況確認日	平成 年 月 日
期末確認日	平成 年 月 日

番号	業務目標	関連のURA機構業務達成目標番号	期中における進捗状況	期末における達成状況
1				
2				
3				
4				
5				

〔特記事項〕適宜記入

※ 業務目標：URA機構の組織目標を踏まえた中期における各自の業務目標を記載する  
 ※ 関連のURA機構業務達成目標番号：URA機構組織目標の該当する番号を記入する

## 九大独自の研修プログラム実施

- 基礎講義⇒研究支援の概要等
- 業務研修⇒ジョブローテーション
- 特別講義⇒科学技術イノベーションセミナー

### プロジェクト企画

- 研究分析・提案  
〔プレアワードチーム〕
- 学術研究情報発信・広報
- 学内研究動向の把握
- プロジェクト企画・提案
- 新たな研究チーム構成
- 外部研究資金 獲得  
受託・共同研究

### 研究マネジメント

- プロジェクト推進  
〔ポストアワードチーム〕
- プロジェクト毎にURAを配置
- WPI, COE, etc
- 大型産官学連携
- 研究システム改革
- 新規大型プログラム
- 新規大型プロジェクト

### イノベーション創出

- 研究成果の報告
- 研究成果の発信・広報
- 知的財産の確保・活用
- 成果の社会還元
- 成果の評価に基づく  
新規プロジェクト提案

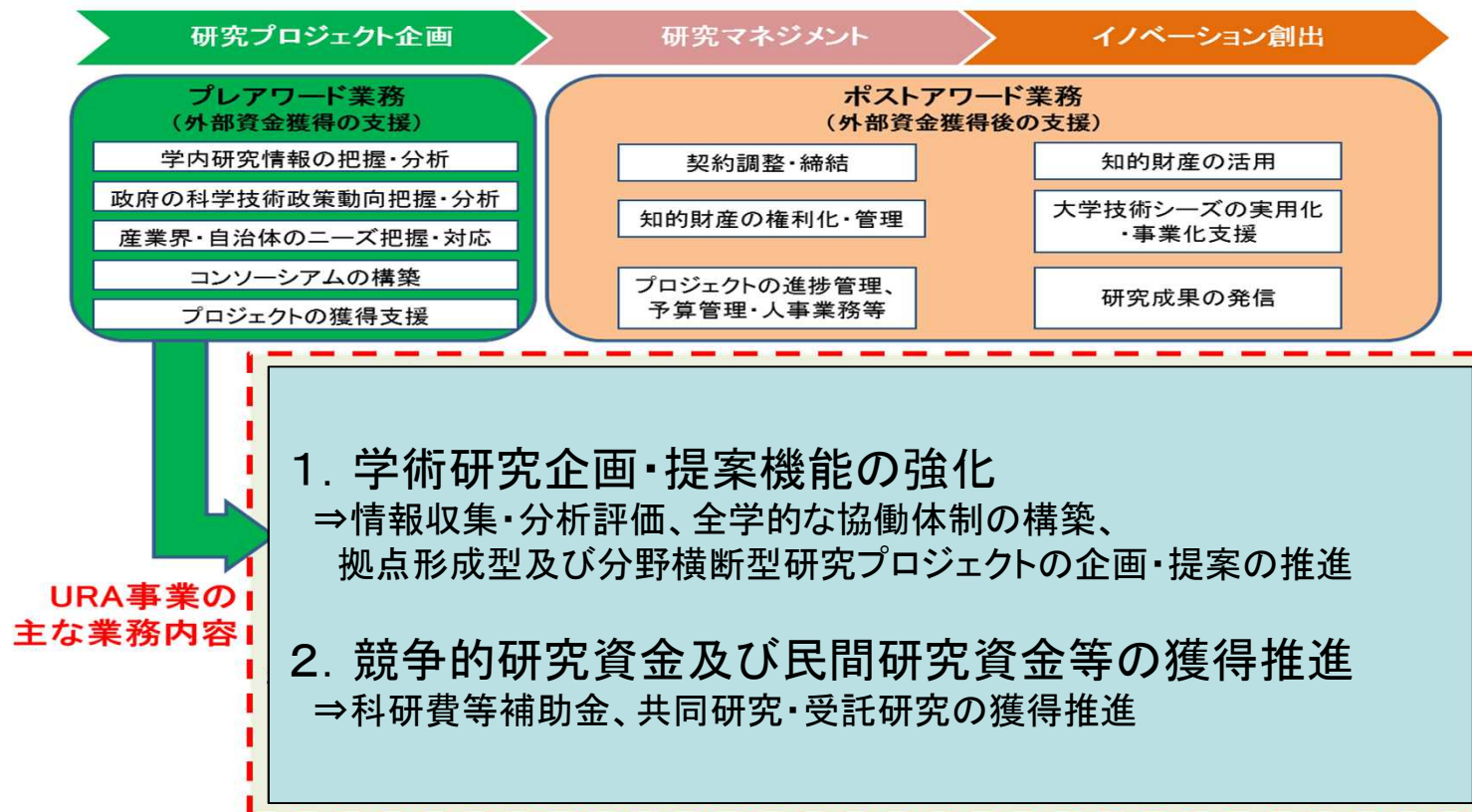


# 4.URAシステムの定着・運営の安定化(1/2)

- **役員・部局長会議、全部局の教授会を訪問**  
⇒URAの役割や事業概要等を説明

- **パンフレット・HPによる周知**  
⇒日本語/英語によるパンフレットを配布、HPをリニューアル

## 九州大学における学術研究推進支援機構(URA機構)の事業概要







## URAをも包含する革新的システムの構築

将来構想

### 概要

教員、事務職員とは異なり、教育、研究等の管理・運営等に係る専門的知識を有する人材として、その専門性から**経営・運営に直接的**に関与できる**職能集団**

### 大学運営企画調整職員(仮称)

- ◇研究企画調整職員(研究企画調整官、上席研究企画調整官) ←URAに相当
- ◇教育企画調整職員
- ◇法務企画調整職員
- ◇図書・情報企画調整職員
- ◇国際企画調整職員

年俸制の適用  
ハイクラスな報酬体系  
成果等を評価し処遇に反映

キャリアパス

理事

副学長・  
総長補佐

副理事

上席企画調整官

企画調整官



## 5.URAシステム整備に対する学長及び関係役員の責務 15

### URA定着化に向けた大学のビジョン

- 研究マネジメント職として定着させ、URA人材供給の基幹校としての役割を果たす
- 教員や事務職員とは異なる第三の職種として、人事制度の構築及びURA機構の改組

策定

研究戦略会議において、URAシステム整備の基本的方針を策定  
「九州大学リサーチ・アドミニストレーターの整備・定着について(H26.2.20)」

検討

#### 【課題】

- 補助事業終了後のURA組織の維持  
⇒獲得した間接経費等の一定率分を雇用財源に充当する仕組みの構築
- キャリアパスの構築  
⇒他大学・民間企業等との人事交流等を通じて、役員等になり得る魅力ある  
キャリアパスの構築